

(財)21世紀職業財団  
平成14年2月14日

連 絡 先	財団法人21世紀職業財団	
	理事長	太田芳枝
	短時間・在宅労働業務部長	栗原孝俊
	短時間・在宅労働業務部次長	高田義文
	電 話	03-5276-3356
	所在地	千代田区二番町9-8
	HPアドレス	<a href="http://www.jiwe.or.jp">http://www.jiwe.or.jp</a>

## 在宅ワーカーとしての能力をネット上で自己診断 —「在宅ワーカースキルアップシステム」の試行—

情報通信機器の普及により在宅就業は、仕事と家庭生活との両立が可能となる柔軟な就業形態として期待されていますが、自営的に働く上での心得や、仕事を受ける際に必要な能力の有無を把握することは、質の高い在宅ワークを実現する上で不可欠です。

そこで、財団法人21世紀職業財団\*では、「在宅ワーク支援事業検討委員会」を設置し、本年度在宅ワーカーとしての能力を自己診断するシステム「在宅ワーカースキルアップシステム」（別紙）の開発を行っていましたが、この度、来年度の本格施行に向け、平成14年2月15日（金）から試行を行うこととなりました。

「在宅ワーカースキルアップシステム」のアドレス

<http://www.jiwe.or.jp/gyomu/zaitaku/skill/>

- (添付資料) 1 「在宅ワーカースキルアップシステム」のトップ画面  
2 「在宅ワーカースキルアップシステム」のサイトマップ
- (参考資料) 1 在宅ワーカーの能力開発支援の概要  
2 在宅ワーク支援事業検討委員会報告書の抜粋

\* 財団法人21世紀職業財団とは、厚生労働大臣の許可を受け、女性の能力発揮の促進、職業生活と家庭生活の両立支援、パートタイム労働者の雇用管理の改善事業等を行っている公益法人です。

(別紙)

## 在宅ワーカースキルアップシステムの概要

### 1 目的

在宅ワーカー及びその希望者が自己の能力の客観的診断を通じて能力開発の動機付けを得ることを支援するとともに、在宅ワーカーの情報交換の場を提供するなど在宅ワーカー相互のネットワーク形成を促進し、在宅ワーカーの資質向上に資することを目的とする。

### 2 自己診断システム

オンライン上で在宅ワーカーに必要な知識と技能を診断する。

#### (1) 知識編

与えられた設問の解答により判定する。

##### ○ 共通事項

- 1 在宅ワーカーの心得
- 2 受注から納品に至る仕事の流れ
- 3 代表的なソフトウェアの習熟度
- 4 パソコン及び周辺機器の基礎知識
- 5 データ通信に係る基礎知識

##### ○ 職種別専門事項

- ・テキストエディット
- ・データエントリー
- ・ホームページ制作
- ・テーブルライティング


#### (2) 技能編

与えられた課題に基づき、自分のパソコンでその課題を作成し自己評価する。  
また、そのデータをアップロードすることによりオンライン採点できる。

### 3 交流の場

在宅ワーカー同士の情報交換を行える掲示板です。(試行中はサンプル表示のみ。)

# トップ画面



Home Worker's  
Skill Up System

---

## 在宅ワーカースキルアップシステム

**TOPページ**

**ご利用にあたって**

**自己診断 知識編**

**自己診断 技能編**

**交流の場**

**よくある質問**

**サイトマップ**

**本サイトの目的**

本サイトは、在宅ワーカー及びその希望者が自己の能力の客観的診断を通じて能力開発の動機付けを得ることを支援するとともに、在宅ワーカーの情報交換の場を提供するなど在宅ワーカー相互のネットワーク形成を促進し、在宅ワーカーの資質向上に資することを目的としたサイトです。

**自己診断システム**

本システムは、オンライン上で在宅ワーカーに必要な知識と技能を診断できます。  
下記の2つの診断が行えます。

**知識編**  
与えられた設問の解答率により判定します。

**技能編**  
与えられた課題に基づき、自分のパソコンでその課題を作成し自己評価します。また、そのデータをアップロードすることによりオンライン採点されます。(但し、一部の課題ではオンライン診断は行われません)

●ご利用にあたっては、こちらをお読み下さい

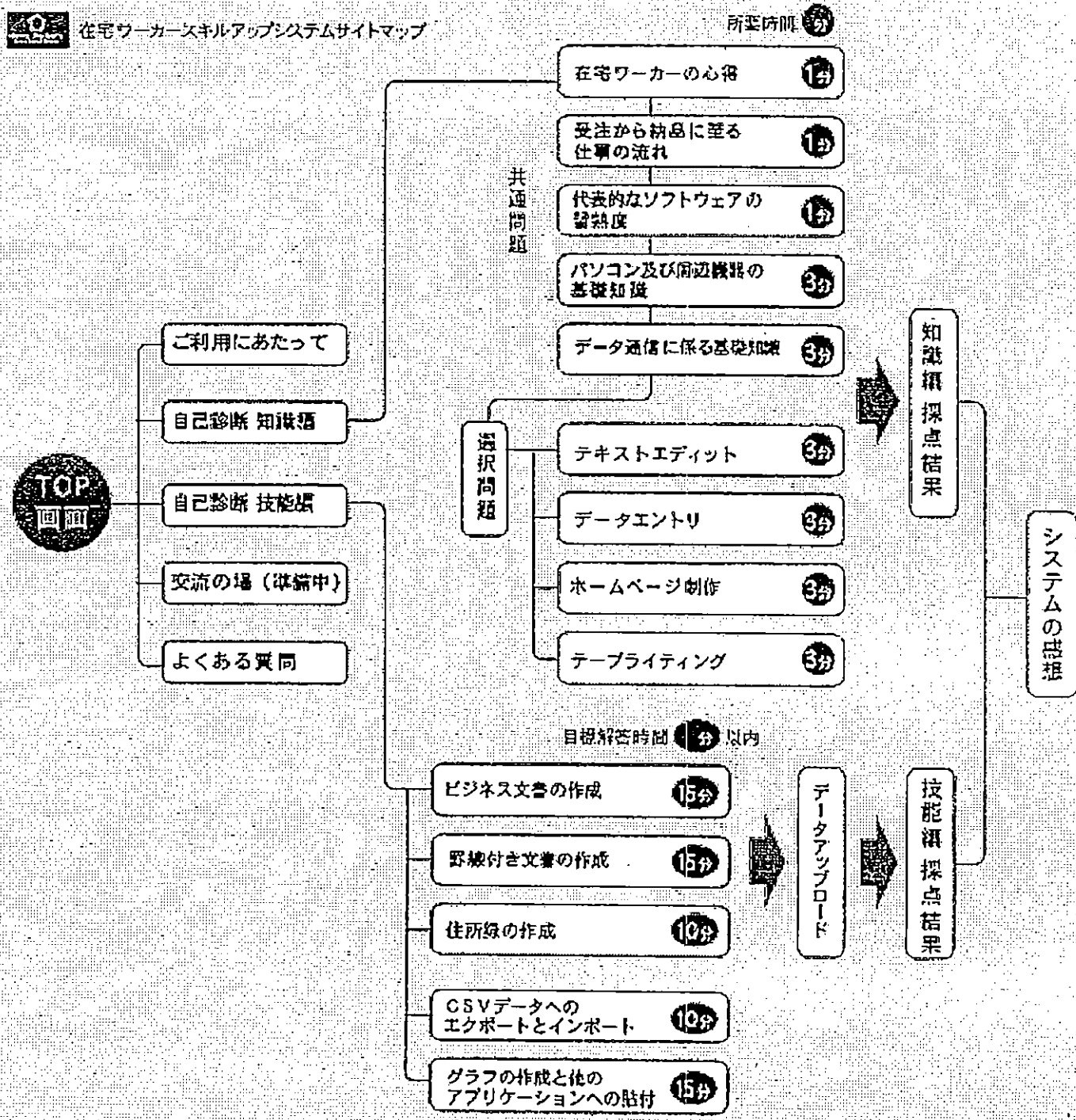
**交流の場**

在宅ワーカー同士の情報交換を行える掲示板です。  
活発な意見や情報の交換を行って下さい。  
現在はテスト運用中のためサンプル表示のみとさせていただきます。

●サンプルを見る

在宅ワーカー  
への支援へ

..... (財)21世紀製業財団



所要時間 30分

共通問題

選択問題

目標解答時間 30分以内

知識類 採点結果

データダウンロード

技能類 採点結果

システムの感想

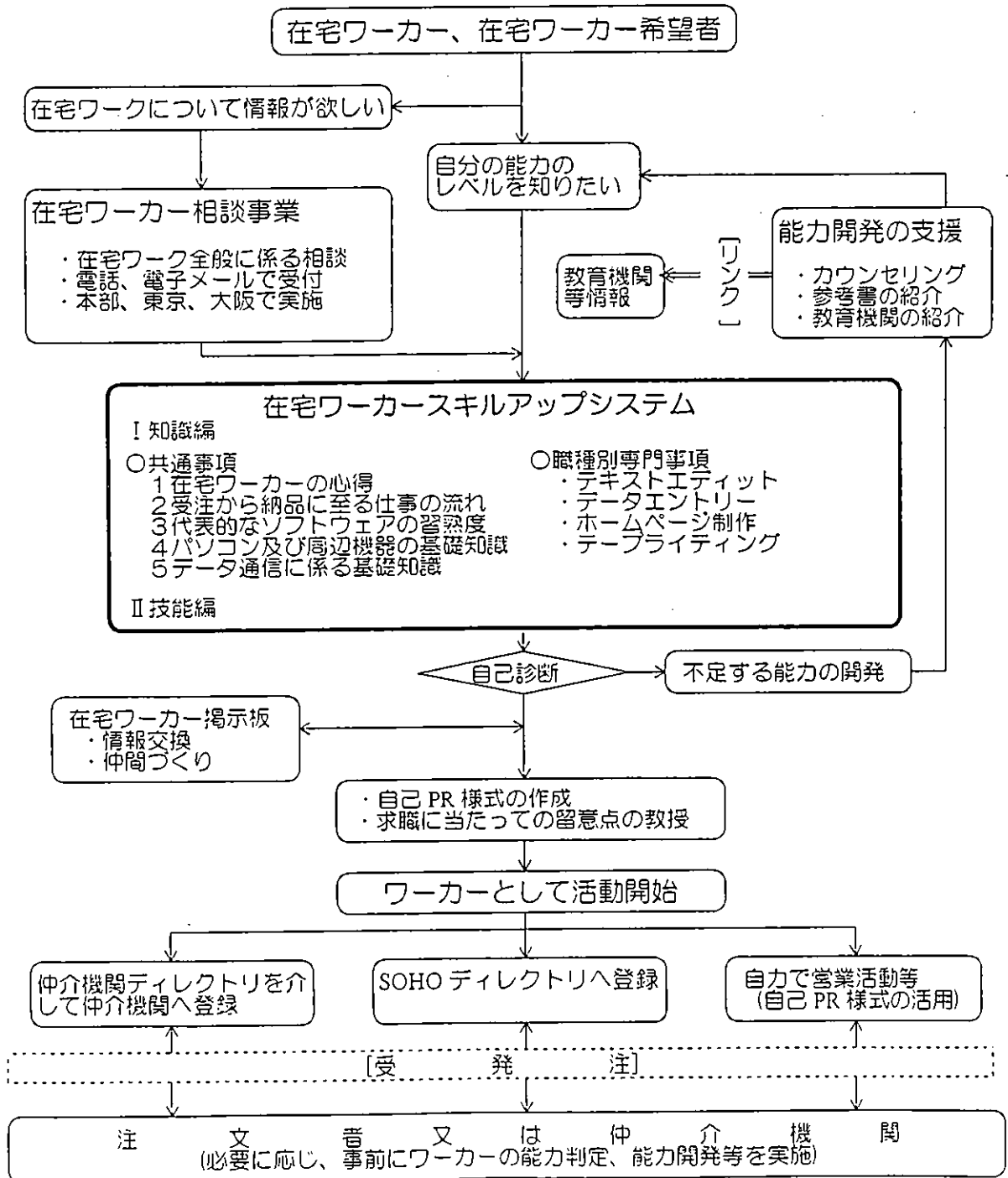
(参考資料1)

## 在宅ワーカーの能力開発支援の概要

在宅ワーカーが自己の能力に見合った仕事を確保したり、ステップアップを図るためには、自己の有する能力の強み、弱みを自己確認した上で能力開発に取り組むことが有益である。

このため、現在、財団法人21世紀職業財団に設置した「在宅ワーク支援事業検討委員会」において、在宅ワーカーとしての能力を自己診断するシステム「在宅ワーカースキルアップシステム」の開発について検討を重ねており、本年2月15日(金)から試行を行う予定である。下の図は「在宅ワーカースキルアップシステム」を中心とした在宅ワーカーの能力開発支援の概要を示したものである。

今後、試行結果等を踏まえて所要の修正を加え、平成14年度上半期を目途に本格稼働を予定している。



(参考資料2)

－ 在宅ワーク支援事業検討委員会報告書（平成13年3月）より抜粋 －

①在宅ワーカーの現状と課題

能力評価－客観的な能力評価の困難さ－： 注文者は在宅ワークの問題点として「仕事成果に個人差が大きい」を指摘しているが在宅ワーカーからは、能力に見合った仕事がもらえない、実力に伴った報酬が支払われないという指摘がある。

情報サイト等の在宅ワーカーの売り込みをみても、各人がばらばらの情報を掲載しており、適正に能力を把握することが困難な状況にある一方、注文者の側も、仕事成果の評価はその都度の判断で行っており、決まったやり方で行っている者は少ない。また現行の資格試験制度は受験資格や評価基準が統一されていないことから、横断的に能力を評価、表示するシステムが必要と考えられる。

②今後の支援策

自己診断システムの開発：平成13年度に、保有する能力と足りない能力を自己確認し、能力向上のために効果的な手法について自己診断できるシステムを開発し、ホームページ上で公開する。